



マーシャル諸島共和国 ビキニ市長参加決定！

アメリカが 67 回の核実験を行った跡が昨年、「負の世界遺産」に登録されたマーシャル諸島共和国ビキニ環礁自治体から、アルソン・ケレン首長が被災 57 年 3・1 ビキニデーに参加することになりました。メッセージを紹介します。

私たちの故郷の島ビキニは、米国の核実験場にされました。米国から「人類の幸福」のために実験をされると言われ、私たちの先祖は島から退去しました。すぐに帰れると信じていましたが、強い放射能汚染のため今も島に帰ることはできません。今、「監獄の島」と呼ばれるキリ島で不便な生活を強いられています。今回初めて、ビキニのブラボー実験とゆかりのある静岡・焼津を訪れ、被災者のみなさん、原水爆反対を訴えてきたみなさんとお会いできることを楽しみにしています。みなさんの被害や運動を学ぶとともに、ビキニ島民が受けてきた被害と苦難についても訴えたいと思っています。



アルソン・ケレン首長